

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|-----------|---|
| 承認番号 | 1705 |
| 課題名 | ネフローゼ症候群における腎組織のヒストンメチル化修飾の役割解明 |
| 研究期間 | 西暦 2014 年 4 月 1 日 ～ 2016 年 3 月 31 日 |
| 利用する情報、検体 | ■診療情報（詳細： カルテ参照 ） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：腎臓 ） ■血液 ■その他（尿検査 ） ※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 2010 年 4 月 1 日 ～ 2016 年 3 月 31 日 |
| 研究の意義、目的 | 最近、遺伝子周囲のタンパク質のひとつであるヒストンにメチル化修飾を導入する酵素が発見され、遺伝子構造の変化に重要な働きをしていることが明らかにされています。最近、この遺伝子発現の制御におけるヒストンのメチル化修飾の役割も多く疾患で明らかになってきています。 ネフローゼ症候群発症は環境因子とのかかわりも大きな要因であり、膜性腎症など高齢に発症する疾患も存在しますが、その発症メカニズムは明らかではありません。これらのことを検討するため、過去に腎生検を受けていただいた患者様の標本を再度検討するこの研究を計画しました。 |
| 研究の方法 | 以前経皮腎生検で採取いたしました検体を再度顕微鏡で観察するもので、新たに採取するものではありません。標本からは多数の切片が作成できますので、今後の検討に関しても不利益をきたすことはありません。 またカルテに記載されています血液・尿検査等のデータを参照させていただきます |
| その他 | |
| 個人情報について | 利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。 |
| 問い合わせ等の窓口 | 所属：第一内科 氏名：藤野貴行 電話番号：0166-68-2442（内線 2442） |